

ICT を活用した学習場面

A1 教員による教材の提示, B2 調査活動

社会科

6年2組 小野 晃寛

単元名 大昔の暮らしとくにの統一(4/6)

本時のねらい: 古墳時代の様子について, 全国の各地の古墳の数や大きさに着目して調べることを通して, 大和朝廷の勢力の強さや広がりについて考えることができるようにする。

評価規準: 古墳時代の様子について, 大和朝廷の勢力の強さや広がりについて考えている。

【思考・判断・表現】

指導の流れ

児童の活動 (ICT 活用の様子)・ICT 活用のねらいや留意点

1. テレビ画面に提示された古墳の写真を見て, 何か想像する。
2. 仁徳天皇陵古墳であることを知り, 「グーグルアース」で上空からの視点で見てみる。
3. 仁徳天皇陵周辺にも同じような形の古墳がいくつもあることを確認し, 他にもないか調べる。



4. 近畿地方に多いことや, 全国各地にもあることを資料から理解し, 各地の古墳を「グーグルアース」で見つめる。
5. 古墳作りの資料 (古墳におさめられたものの写真, 人数, 費用, 年月等) から古墳がつくられた目的を考える。
6. 全国各地にも広がっていることから, 大和朝廷の勢力の広がりに気付く。

ICT 活用の効果 (困りが解決されたか)

成果: 以前は資料集や教科書から教師が提示した資料をもとに調べ学習を行っていたが, タブレット端末の導入により, 自ら知りたい情報を得ることができた。今回は「グーグルアース」を使うことで, 自分で操作しながら仁徳天皇陵古墳の大きさや, 大阪や奈良に古墳が多いことを実感することができた。主体的に歴史遺産に関わることで, 児童自ら課題を意識して考えることに繋がった。

課題: 今回は古墳ということで, 上空からしか捉えられない大きさや形, 多さを知るのに「グーグルアース」は最適であった。しかし, そのほかの歴史遺産を調べると, 歴史遺産だけでなく, 観光客や他の施設なども映り込んでいるため, 目的外のことに興味をもってしまうことがあった。目的をはっきりさせて, 使うことが重要である。